COMET

CB-1200Ⅳ/2400Ⅳ

取扱説明書（改訂版）

ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに保管してください。



はじめに

このたびは、コメットCB-1200IV/2400IV電源部をお買いあげいただきまして、まことにありがとうございます。

本機はCB-IIIシリーズ電源部をより進化させ、高精度の1/10EVステップの調光と出力をFULLから1/8までと調光範囲をワイドにしました。

なお、ご使用になる前にこの「取扱説明書」をよくお読みいただき、注意事項や使用方法を十分ご理解いただいたうえでご活用ください。

付属品

● ACコード(3.5mインレットタイプ)				1本
● CR－シンクロコード　5m（ホーンジャックタイプ）				1本
●ヒューズ	CB-1200IVの場合	ストロボ用	10A	2本
		モデリングランプ用	6A	1本
	CB-2400IVの場合	ストロボ用	15A	2本
		モデリングランプ用	6A	1本
● 取扱説明書　● 保証書　●ご愛用者登録カード				

目次

1 安全のため特にご注意ください

■ご使用の前に、この説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。

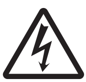
■ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、この機器を使う人への危害、または物的損害を未然に防止するための注意です。

■注意事項は危害や損害の大きさと切迫の度合いを明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「危険」「警告」「注意」の３つに区分しています。

いずれも機器を安全にお使いいただくために重要な内容ですので、必ず守ってください。

危険：人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容。
警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
注意：人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容。

絵表示の意味



△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な禁止内容(左図は感電注意)を示しています。



⃠記号は、禁止行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図は分解禁止)を示しています。



●記号は、具体的な指示内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（左図はプラグをコンセントから抜いてください)を示しています。

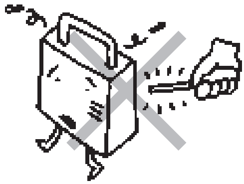
お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られるところに必ず保管してください。

 警　告



■ 修理技術者以外の方は、絶対に分解したり修理・改造をしないでください。

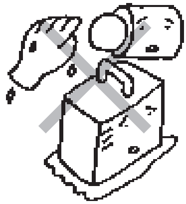
電源部は、メインスイッチを切りACコードをコンセントから抜いた後も、内部には長時間高電圧が残っており､感電の恐れがあります。また､発光部も電源部へ接続した状態では高電圧がかかっており危険です。
十分注意をしてください。

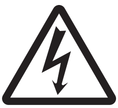




■ 水に濡れる場所や湿度の高い場所での使用､また手足が濡れた状態や素足での操作はしないでください。

漏電による感電の恐れがあります。





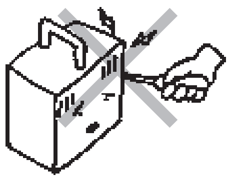
■ 電源部の出力コネクター金属部には、絶対に触れないでください。

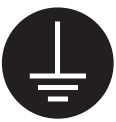
電源部は、メインスイッチを切った後も高電圧が残っており、感電の恐れがあります。



■ 電源部やヘッドのスリット部には金属などの異物を絶対入れないでください。

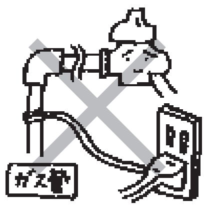
感電、ショートによる発火の恐れがあります。





■ 感電防止のため、必ずアース（接地）してください。

アース線を接続するときは、機器のメインスイッチを切り、ACコードをコンセントから抜いて行ってください。
アース線は絶対にガス管にはつながないでください。





■ 使用中のヘッドに水滴などがかからないようにしてください。



使用中のヘッドはキセノン管、モデリングランプが高温になっています。水滴などがかかるとガラスが破裂する恐れがあり、大変危険です。
取扱いには十分注意をしてください。



■ ヘッドコードプラグは電源部の出力コネクターに確実に差し込んでください。また締め付けリングのあるタイプは差し込み後、リングを回転し締めつけてください。



プラグの接続が不確実な場合、スパークにより発火の恐れがあります。

■ ヘッドは発光時、高温の熱を発します。人体に向けて近い位置で発光させたり、可燃物に向けての使用は絶対にしないでください。



火傷や火災の恐れがあります。

■ 揮発性のガソリン、シンナー、可燃性ガスなどを使用している場所や、大量の粉塵が舞っている室内などでは絶対に使用しないでください。



爆発、火災、火傷の恐れがあります。

■ 使用電圧はAC100V (50/60Hz)です。

異なる電圧で使用すると感電、発火、火災の原因となります。

■ ACコードプラグやヘッドコードプラグを着脱する時は必ず電源部のメインスイッチ、モデリングランプスイッチを切ってください。



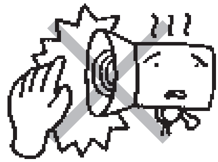
急激に大電流が流れ、ショートによる火傷、発火の恐れがあります。

⚠ 注　意



■ 使用中や使用直後のヘッドは、かなりの高温になっています。十分温度が下がってから取り扱ってください。

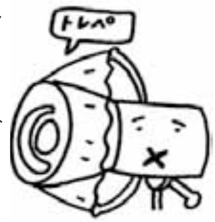
火傷の恐れがあります。





■ ヘッド使用中は、紙や布または樹脂系のシートなど可燃物を近づけたり、覆っての使用は、しないでください。

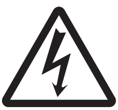
使用中はかなりの高温となり発火、火災の恐れがあります。



■ ヒューズやモデリングランプは弊社指定の定格品を使用してください。

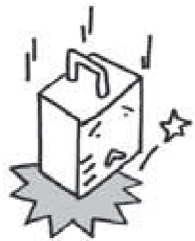
定格品以外の使用は発火、火災の原因となります。

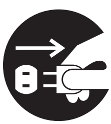




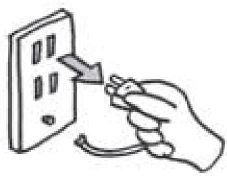
■ 落としたり衝撃が加わったときは、直ちに使用を中止し、弊社、またはご購入店で点検を受けてください。

外観的な変形がなくても内部の電子部品などの損傷で、感電や漏電の恐れがあります。
コードの被覆損傷のときも同様に点検を受けてください。





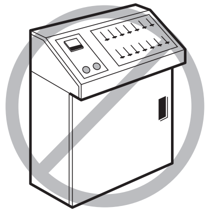
■ 使用後は安全のために必ず AC コードをコンセントから抜き取ってください。



2 使用上のご注意とお願い

■ 本機の定格入力電圧はAC 100 V± 10% (50 ／ 60 Hz）です。
定格電圧以外での使用は故障の原因となります。

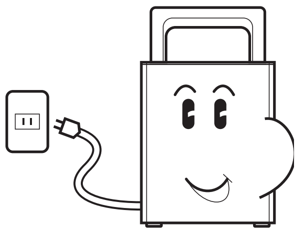
■ 調光機に接続しての使用はしないでください。本機および調光機を破損する恐れがあります。



■ 本機の適合ヘッドは CB-25 ヘッドです。その他のCXタイプヘッドをご使用になるときは最大入力定格（ストロボおよびモデリングランプ定格）にご注意ください。定格の合わないヘッドの使用は故障の原因となるだけではなく大変危険です。

■ 本機で CX-12 バイチューブヘッド、レクト -126 ヘッドをご使用になるときは、いずれも 1 灯のみにしてください。多灯使用は電源部を壊す恐れがあります。

■ 使用されないときでも 1 カ月に 1 〜 2 回は通電することをお薦めします。
3 カ月以上使用しなかったときは、最低 4 時間通電だけを行い、その後ご使用ください。

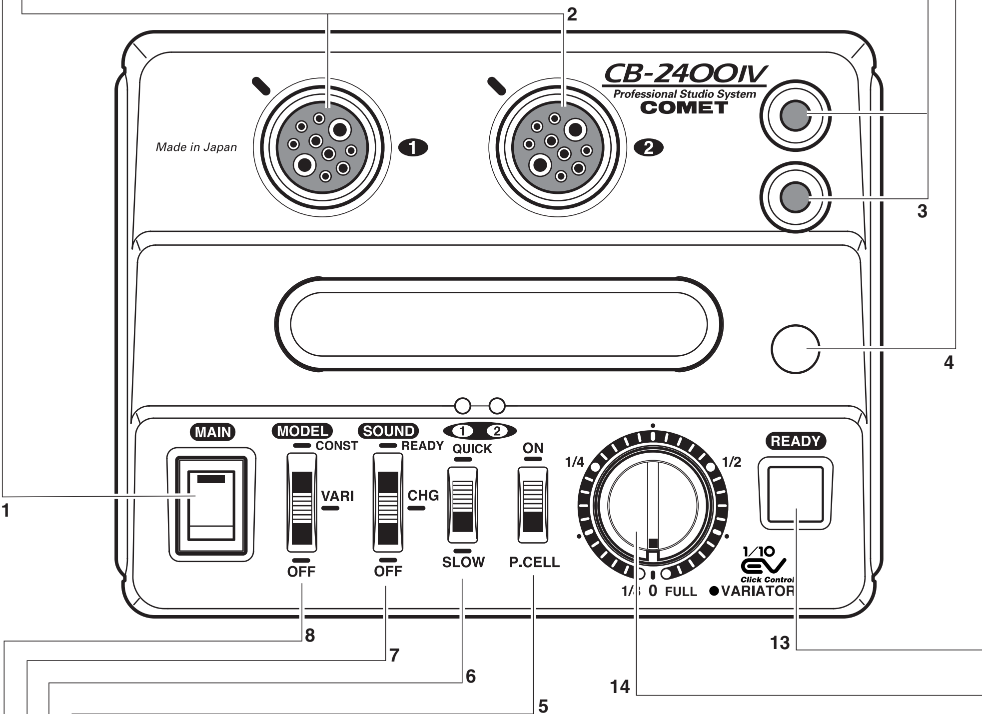


■ 赤外シンクロ装置（当社製）の受信器は、室内の蛍光灯から離れた場所にセットしてください。蛍光管から出る赤外線により、誤動作を起こすことがあります。

■ 赤外シンクロ装置（当社製）を使用するときは、使用する各々の電源部に受信器をセットし、電源部のフォトセルスイッチを必ず「OFF」にしてください。赤外シンクロ受信器を使用していてもフォトセルスイッチが「ON」のとき、同調発光しない電源部が出ることがあります。

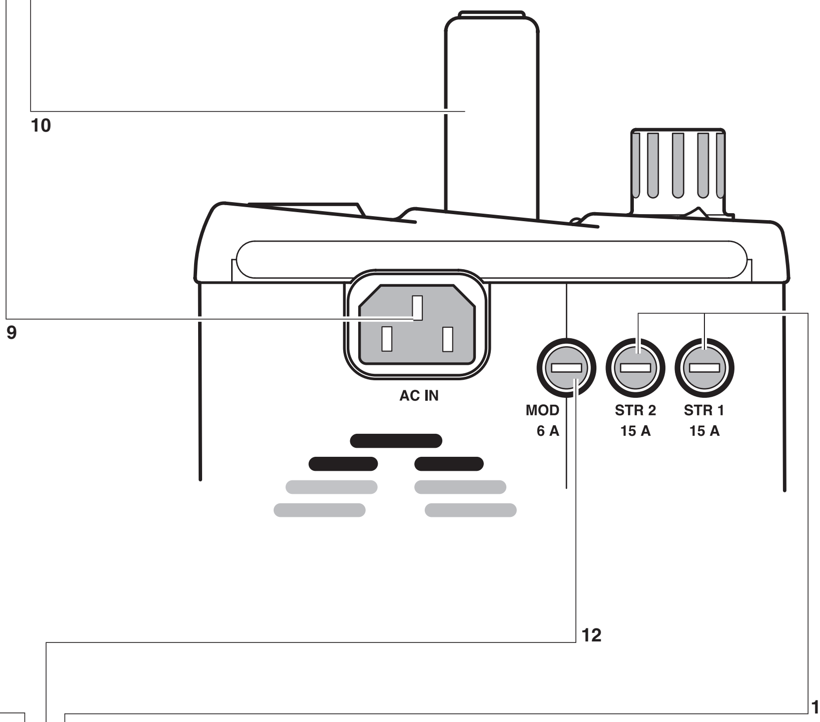
3 各部の名称とはたらき

	名称	はたらき	参照頁
1	メインスイッチ(MAIN)	AC電源スイッチです。パイロットランプは「ON」のとき点灯し、過熱警報時は点滅します。	8頁
2	出力コネクター(1・2・3)	ヘッドを接続します。着脱時はメインスイッチを「OFF」にしてください。	8頁
3	シンクロソケット	付属のホーンジャックタイプのシンクロコードでカメラと接続します。	9頁
4	フォトセル	他のストロボ光を受けて同調発光させるための受光部です。	12頁



	名称	はたらき	参照頁
5	フォトセルスイッチ(P・CELL)	他のストロボ光を受けて同調発光させるとき「ON」にします。	12頁
6	充電モードスイッチ	AC電源容量に合った、充電時間を選択します。	11頁
7	サウンドスイッチ(SOUND)	「充電完了音(READY)」「充電中音(CHG)」または「OFF」にします。	11頁
8	モデリングランプスイッチ(MODEL)	モデリングランプを「調光(VARI)」「100%点灯(CONST)」または「OFF」にします。	9・10頁

	名称	はたらき	参照頁
9	AC コネクター(AC IN)	付属のACコードで電源部とACコンセントを接続します。	8頁
10	把　手	上部のカバーを外すとスペアヒューズが収納されています。	13頁

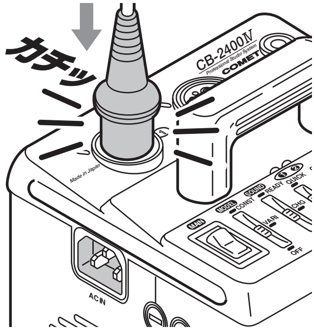


	名称	はたらき	参照頁
11	ストロボヒューズ (STR1・STR2)	ストロボ回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。	13頁
12	モデリングランプヒューズ (MOD)	モデリング回路を保護します。 ヒューズ定格をお守りください。	13頁
13	レディーランプ (READY) テスト発光スイッチ	充電が完了すると点灯します。 点灯している部分を軽く押すと発光します。	9・11頁
14	出力バリエーター (VARIATOR)	出力をFULLから1/8 まで1/10EVステップで調光します。	10頁

4 操作手順

■ 1. ヘッドコードを電源部へ接続してください。

ヘッドコードを電源部のキーマークに合わせて、出力コネクターへ接続します。
"カチッ"と音がするまで十分に差し込んでください。

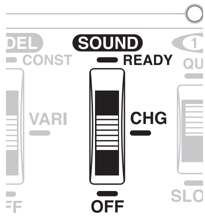


【ご注意】

- コネクターを確実に差し込んでください。差し込みが不完全な場合、発光時に流れる大電流によりコネクターが損傷し、発火の恐れがあります。また、コネクターを着脱するときはメインスイッチ(MAIN)を必ず「OFF」にしてください。

■ 2. サウンドスイッチモードを選択してください。

充電状態を知らせるサウンド（SOUND）が必要なときは、「充電完了音＝READY」「充電中音＝CHG」のいずれかにセットします。



- 警報音はサウンドスイッチのモードに関係なく鳴ります。

☞ 詳細は11ページをご参照ください。

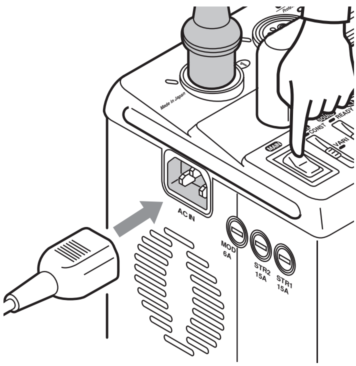
■ 3. ACコードを接続してください。

電源部のメインスイッチ(MAIN)が「OFF」になっていることを確かめてから、ACコードを電源部のACコネクターへ、十分に差し込んでください。

そのあと、ACコードをコンセントへ差し込みます。

■ 4. メインスイッチを「ON」にしてください。

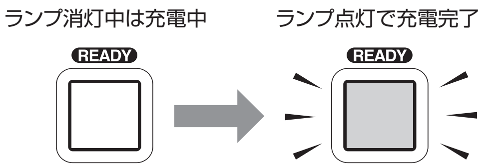
メインスイッチ(MAIN)を「ON」にします。
ACパイロットランプが点灯して充電が始まります。



■ 5. 充電の完了。

充電が完了すると、レディーランプ（テスト発光スイッチ兼用）が点灯し、発光準備が完了します。

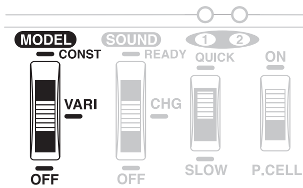
☞ 詳細は11ページをご参照ください。



■ 6. モデリングランプスイッチを使用するモードにしてください。

モデリングランプスイッチ(MODEL) でモデリングランプの点灯モードを選択します。

☞ 詳細は10ページをご参照ください。



■ 7. テスト発光をしてください。

テスト発光スイッチ(READY) を軽く押して、接続したヘッドが正常に発光していることを確かめてください。

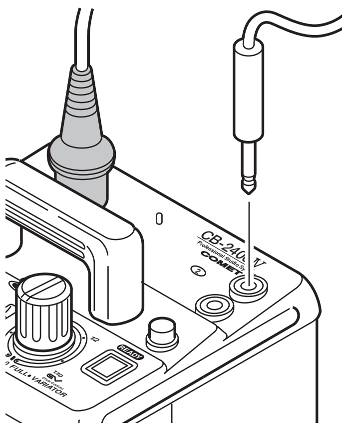
■ 8. カメラとのシンクロを確認してください。

シンクロコードでカメラと接続し、カメラでの発光テストをします。

●本番撮影をされる前に実際のフィルムもしくはインスタントフィルム等でカメラのシンクロ(同調)テストをされることをお奨めします。

【ご注意】

- カメラまたはレンズにM／X接点があるときは、必ずX接点を使用してください。
- フォーカルプレーンシャッターのカメラを使用のときは、シャッター速度を1／60〜1／30で使用してください。

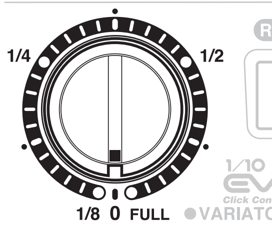


5 出力バリエーター

出力バリエーター（VARIATOR）は、出力をＦＵＬＬから1／８までを1／１0絞りステップで調光します。

1. 出力バリエーター（VARIATOR）を下げたとき

本機は電圧調光方式を採用しています。このため出力バリエーターを下げても内部のメインコンデンサーに蓄められている電気エネルギーは、直ちに新たな設定出力値まで下がりません。この場合は、一度空発光してください。充電が完了すると新たな出力値に設定されます。



2. 出力バリエーター（VARIATOR）を上げたとき

設定された出力値まで自動的に充電が行なわれますので、空発光操作の必要はありません。
この場合、レディーランプがいったん消灯し、充電が完了すると再点灯します。

3. 出力バリエーター（VARIATOR）を「0」の位置を選んだとき

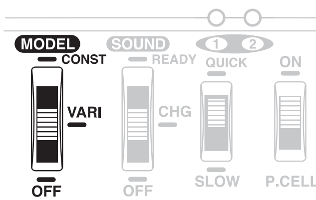
モデリングランプは点灯しますが、ストロボは発光しません。
発光操作をすると、不発光警報が出ます。

6 モデリングランプモード

■ CONST　出力バリエーターに関係なく、モデリングランプが１００％の明るさで点灯します。

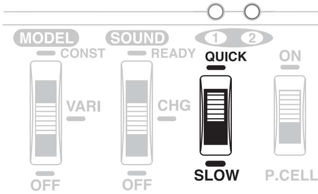
■ VARI　モデリングランプをストロボ出力と連動して、調光します。

■ OFF　モデリングランプを消灯します。



7 充電モード

使用状況や電力事情によってブレーカー容量が不足のときは、スロー充電モードで使用することができます。

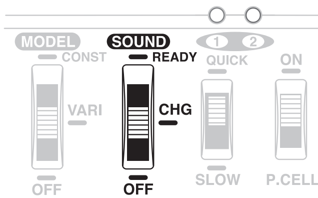


充電時間とブレーカー容量

機　種	CB-1200Ⅳ(秒)		CB-2400Ⅳ(秒)	
モード	QUICK	SLOW	QUICK	SLOW
充電時間(50Hz/60Hz)	3.2／2.7	11／11	3.5／2.9	13／13
ブレーカー(A)	15	10	20	10

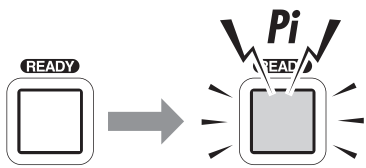
8 サウンドモード

充電の状況をブザー音で知らせます。



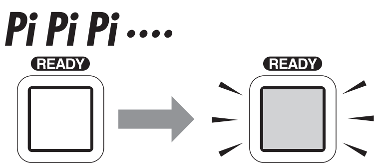
■ READY

充電が完了したとき、ブザーが鳴ります。



■ CHG

充電中ブザーが鳴り、充電が完了すると止まります。



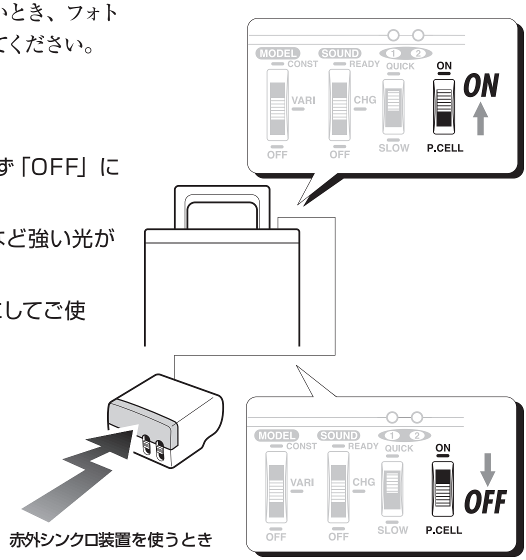
■ OFF

消音。

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

9 フォトセル

他のストロボ光を受けて同調発光したいとき、フォトセルスイッチ（P.CELL）を「ON」にしてください。



【ご注意】

● 赤外シンクロ装置を使うときは必ず「OFF」にしてください。

● フォトセル受光部周辺に直射日光など強い光が当たると作動しないことがあります。

● 同調発光させないときは「OFF」にしてご使用ください。

10 不発光警報

発光操作をしても、何らかの原因で発光しないとき、ブザーが鳴り、該当コネクターの不発光表示が点滅（赤）して不発光を知らせます。

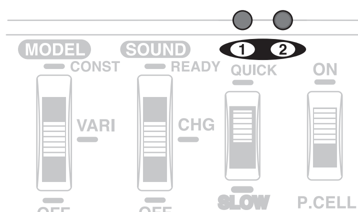
充電完了前に発光操作を行ったときも、発光せず該当する不発光表示が点滅します。

●警報はサウンドモードに関係なく鳴ります。

■警報の解除

不発光警報の解除は、充電完了後ふたたび発光操作をして正常に発光すれば解除されます。

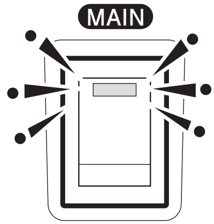
また、メインスイッチ（MAIN）をいったん「OFF」にすることでも解除できます。



11 過熱警報

連続発光などにより内部の電子部品が所定の温度以上になったとき、メインスイッチ(MAIN)の表示ランプが点滅し、ブザーの連続音で知らせます。このときは、ただちに使用を中止してください。

●警報音はサウンドモードに関係なく鳴ります。



【ご注意】

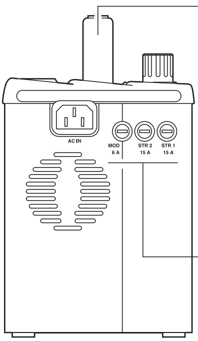
●冷却を早めるために、メインスイッチ（MAIN）を一旦「OFF」にし、再度「ON」にしてください。警報は止まり、冷却ファンは作動します。

12 ヒューズ交換

該当するヒューズホルダーの蓋を⊖ドライバーで外し、断線したヒューズを取り出します。切れたヒューズと同じ定格のものと交換してください。

【ご注意】

●ヒューズ交換は、メインスイッチ（MAIN）を「OFF」にし、必ずACプラグをコンセントから抜いて行ってください。



ヒューズ定格	CB-1200Ⅳ	CB-2400Ⅳ
ストロボ（STR 1 / 2）	10A	15A
モデリングランプ（MOD）	6A	6A

● ヒューズは必ず表示されている定格のものを使用してください。

13 保証とアフターサービス

■保証書と保証期間

添付された保証書に「販売店名・ご購入日」など、所定事項の記載もれがないかをご確認のうえ大切に保存してください。なお、保証期間はご購入日から一年間です。

本製品に、純正部品・純正アクセサリー以外のものを使用することによって生じた故障・事故、および本取扱説明書で明記した注意・禁止された事項をお守りにならずに生じた故障・事故については一切の責任を負いかねます。

また、消耗品類は保証の対象となりません。詳しくは保証書の保証規定をご参照ください。

■保証期間終了後の修理

保証期間後でもご要望により有償で修理いたします。引き続き安心してご使用いただけます。

■アフターサービス

すべてのコメット製品は、厳重に調整・検査して出荷されていますが、万一故障になったときはご購入店または弊社営業所へご連絡ください。

■修理・点検へお出しになる際のご注意

修理・点検にお出しになる際は、電源部・ご使用中のすべてのヘッド・ヘッドコード・ACコード・シンクロコードをセットにしてご依頼ください。迅速なアフターサービスをさせていただきます。

保証期間中のものは必ず保証書を添付してください。保証期間後のものは保証書に記載されている製品名・型式・ご購入年月日をお知らせください。

また、修理にお出しになる前にACプラグが抜けてないか、ヒューズ、ブレーカーが切れていないかをお調べください。

■修理・点検後のご注意

修理伝票は修理完了品に添付してあります。

修理内容が明記されておりますので、修理品をお受け取りになる際に確認してください。

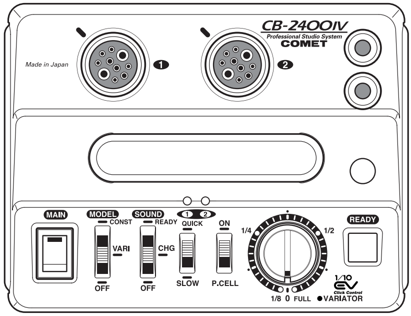
また、修理伝票は次回の修理に必要となることがありますので大切に保存してください。

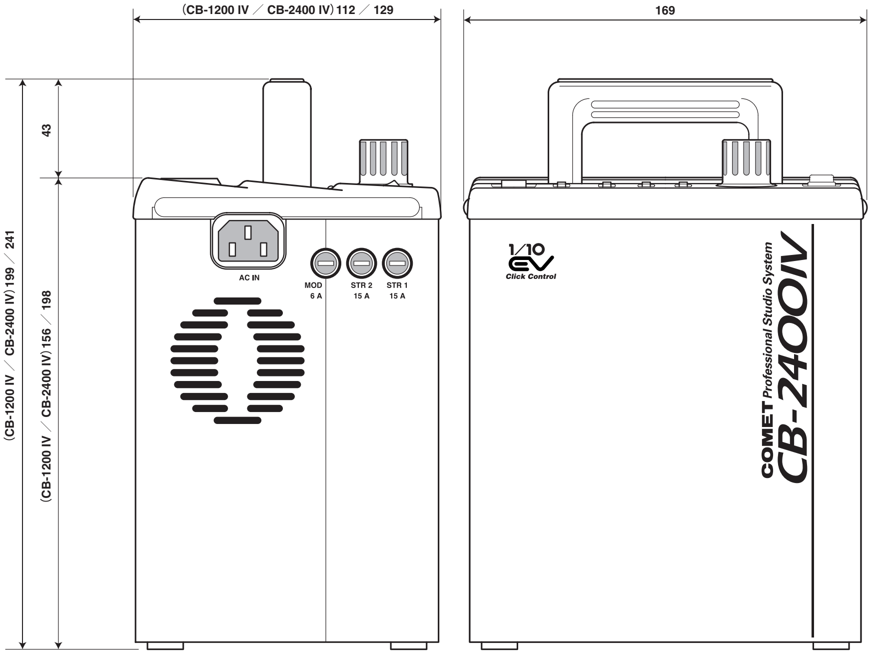
14 仕様

品名	CB-1200IV 電源部	CB-2400IV 電源部
型式	CB-1200IV	CB-2400IV
定格電圧	AC100V±10%(50/60Hz)	
ヒューズ定格	ストロボ　10A　2 本	ストロボ　15A　2 本
	モデリング　6A　1 本	モデリング　6A　1 本
最大出力	1200Ws	2400Ws
出力コネクタ数	2	
充電時間　クイック(秒)	3.2/ 2.7(50Hz/60Hz)	3.5/2.9 (50Hz/60Hz)
スロー(秒)	11/11 (50Hz/60Hz)	13/13 (50Hz/60Hz)
充電サウンドモード	READY(充電完了音)/CHG(充電中音)/OFF	
調光方式	電圧調光	
調光範囲(クリックステップ)	FULL～1/8(1/10 絞りステップ)	
出力表示	パネル目盛方式	
モデリングランプモード	CONST(100%点灯)/ VARI(出力連動調光)/ 消灯	
モデリングランプ定格	250W以下(ヘッド 1 灯につき)	
シンクロソケット数	1	2
シンクロソケット	ホーンジャックタイプ	
シンクロ電圧	DC12V	
フォトセル	あり(OFF スイッチ付)	
不発光警報	該当する各灯ランプ点滅とブザー連続音	
過熱警報	AC パイロットランプ点滅とブザー連続音	
クーリングファン	内蔵	
寸法　w×h×d(mm)	169×156×112	169×198×129
重量(kg)	2.8	4.2

●本仕様は 2006 年 4 月のものです。改良のため予告なく変更することがあります。あらかじめご了承ください。
●寸法表示は把手を含みません。(把手の高さは 43mm)

■外観寸法図


CB-2400IV
Professional Studio System
COMET
Made in Japan
MAIN
MODEL
CONST
VARI
OFF
SOUND
READY
CHG
OFF
QUICK
SLOW
ON
P.CELL
1/4
1/2
1/8
0
FULL
●VARIATOR
READY
1/10 EV
Click Control


（CB-1200 IV ／ CB-2400 IV）112 ／ 129
169
43
（CB-1200 IV ／ CB-2400 IV）199 ／ 241
（CB-1200 IV ／ CB-2400 IV）156 ／ 198
AC IN
MOD
6 A
STR 2
15 A
STR 1
15 A
1/10 EV
Click Control
COMET Professional Studio System
CB-2400IV

MEMO

検査証	当製品は弊社の厳重なる検査に合格したことを証します。	品管	検　査

●長年ご使用のストロボ機器の点検をぜひ！

愛情点検	こんな症状はありませんか		
	●スイッチを入れても所定の時間で充電しない ●通電中に異音、異臭、あるいは発煙する ●ヒューズがすぐ切れる ●ストロボ電源部やヘッドに触るとピリピリと電気を感じる ●その他の異常や故障があるとき	▶	このような症状のときは直ちに使用を中止してACプラグをコンセントから抜いて、当社営業所または販売店にご相談ください。

●ストロボは内部に高電圧を蓄える機器です。誤った操作、または異常を無視して使用すると、使用する人々への危害、または物的損害を与えることが予測されます。取扱い説明書の操作方法に従い、「警告」「注意」などを守って安全にお使いください。

●上記のような症状がなくても1年に1〜2回は点検を受けられるようおすすめします。

アフターサービスについてのご相談は

COMET®　コメット株式会社

本社	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8621	FAX.(03)3264-6385
札幌営業所	〒064-0804	札幌市中央区南4条西12-1304-4	TEL.(011)561-2488	FAX.(011)563-2620
仙台営業所	〒981-8003	仙台市泉区南光台4-29-25	TEL.(022)727-6521	FAX.(022)727-6523
東京営業所 営業課	〒103-0015	東京都中央区日本橋箱崎町7-11	TEL.(03)5644-7911	FAX.(03)5644-7912
東京営業所 コマーシャル課	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8625	FAX.(03)3264-8628
名古屋営業所	〒464-0075	名古屋市千種区内山3-1-1	TEL.(052)735-9077	FAX.(052)735-9088
大阪営業所 営業課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-0671	FAX.(06)6536-4020
大阪営業所 コマーシャル課	〒550-0015	大阪市西区南堀江2-9-22	TEL.(06)6536-1667	FAX.(06)6536-4020
広島営業所	〒730-0831	広島市中区江波西1-7-16	TEL.(082)293-0075	FAX.(082)293-0076
福岡営業所	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1202	FAX.(092)411-1209
福岡営業所 コマーシャル課	〒812-0042	福岡市博多区豊2-1-4	TEL.(092)411-1254	FAX.(092)411-1209
一級建築士事務所	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8623	FAX.(03)3264-9906
海外事業部	〒102-0071	東京都千代田区富士見1-4-6	TEL.(03)3264-8622	FAX.(03)3264-6385
ストロボクリニック部 本部	〒103-0015	東京都中央区日本橋箱崎町7-11	TEL.(03)5644-7913	FAX.(03)5644-7914

URL　http://www.comet-net.co.jp　　E-mail　mail@comet-net.co.jp

0802-0020A-6